

TT邸 リノベーション + 耐震補強

旧街道沿いに建つ、江戸末期から明治の始めに建てられた住宅です。

ほとんどの柱が 16 cm角のケヤキが使われていましたが、足元が傷んでいたため基礎と土台を新設して改善しました。

一部を減築し、間取りの再構成により、耐震補強と共に住環境の向上を図りました。



外観（改修後）



外観（改修前）



内部



小屋裏に取り付けてあった滑車



工事中(一部減築のための解体)



工事中(揚げ家)